

令和2年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター

第6号 令和2年7月14日発行

TEL:0229-32-3115 FAX:0229-32-2225

http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/



1. 気象経過

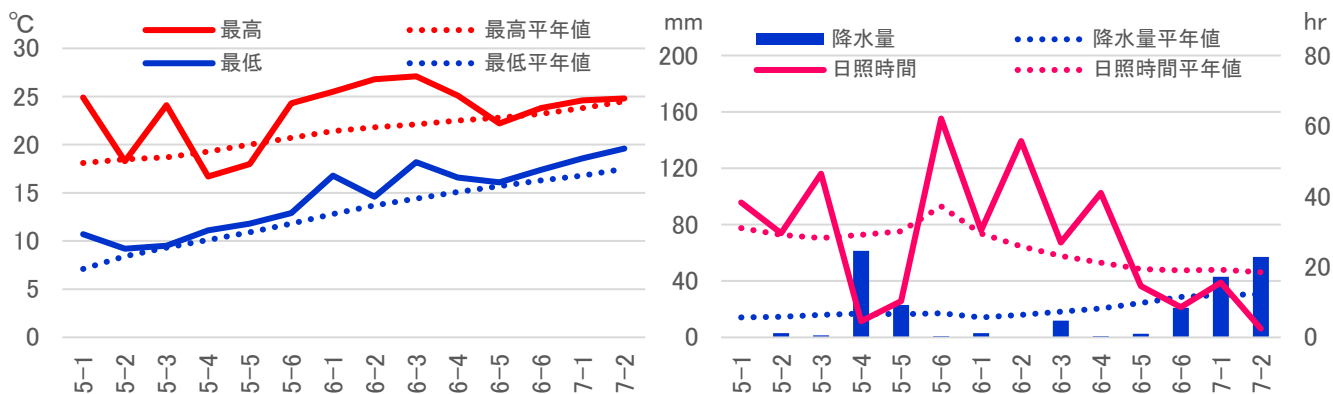


図1 田植後の半旬別気象経過（鹿島台アメダス）

表1 半旬別の気象経過（鹿島台アメダス）

期間	平均気温		最高気温		最低気温		降水量合計		日照時間合計	
	本年値 (°C)	平年差 (°C)	本年値 (°C)	平年差 (°C)	本年値 (°C)	平年差 (°C)	本年値 (mm)	平年比 (%)	本年値 (時間)	平年比 (%)
6月第5半旬	18.9	0.1	22.2	-0.6	16.1	0.4	2.5	10%	14.6	75%
6月第6半旬	20.2	0.9	23.8	0.6	17.4	1.1	21.0	73%	8.6	45%
7月第1半旬	20.8	0.9	24.6	0.8	18.6	1.8	43.0	143%	15.6	81%
7月第2半旬	21.8	1.3	24.8	0.3	19.6	2.1	57.0	186%	2.5	14%

<7月第1・第2>

気温：高い

日照時間：少ない

降水量：多い

2. 管内生育調査ほの生育概況

5月中旬までに移植したほ場では、幼穂形成期に入っています。中干しを終了しましょう。

表2 生育調査結果

調査地点	品種	区分	田植日	栽植密度 (株/㎡)	7月1日調査結果				7月10日調査結果				幼穂長 (mm)
					草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	
涌谷 (小谷地)	ひとめぼれ	本年値	5月10日	18.9	50.3	645	10.8	45.3	65.3	597	11.7	45.1	0.7
		前年比・差	2日早い	101%	111%	116%	0.7	98%	115%	109%	0.7	100%	0.4
		平年比・差	2日早い	107%	107%	115%	0.8	104%	106%	105%	0.7	106%	-0.7
田尻 (桜田高野)	ひとめぼれ	本年値	5月9日	16.3	50.7	504	10.6	43.8	62.7	461	11.4	43.2	1.3
		前年比・差	3日早い	104%	109%	105%	0.2	94%	106%	98%	0.2	94%	0.9
		3ヶ年平均比・差	4日早い	101%	109%	104%	0.4	95%	101%	93%	0.2	97%	0.8
鹿島台 (木間塚)	ササニシキ	本年値	5月11日	15.6	53.5	560	9.8	41.5	66	569	10.6	39.9	0.8
		前年比・差	3日早い	90%	106%	75%	-1.5	101%	111%	81%	-1.5	103%	-0.3
		平年比・差	4日早い	87%	105%	86%	-0.4	98%	108%	90%	-0.7	106%	-0.9
鹿島台 (木間塚)	だて正夢	本年値	5月24日	18.8	51.3	399	9.5	49.4	69.4	438	10.4	48.6	0.3
		前年比・差	11日遅い	89%	93%	67%	-1.4	99%	104%	75%	-1.2	106%	0.3
		3ヶ年平均比・差	11日遅い	91%	100%	77%	-0.5	107%	106%	87%	-0.6	113%	-0.3
南郷 (和多田沼)	金のいぶき	本年値	5月4日	16.3	54.6	473	11.5	43.1	68	460	12.3	39.9	0.9
		前年比・差	1日遅い	100%	107%	75%	1.2	96%	111%	83%	1.1	98%	0.42
直播 小牛田 (荻埜)	萌えみのり(湛水点播(鉄))	本年値	5月11日	20.4	38.5	463	8.0	46.8	53.7	592	9.2	45.9	
		前年比・差	2日早い	109%	108%	199%	0.6	102%	120%	136%	0.5	100%	

※平年値は過去5年間の平均値。過去平均は5年未満の平均値。

3. 今後の栽培管理

北部平坦 出穂期 8月2日頃の予測（平年値：8月2日）

(1) 生育ステージ

表3 生育ステージの予測値（7月13日現在）

移植日	幼穂形成期	減数分裂期	出穂期
5月1日	6/28~7/2	7/8~7/12	7/28~8/1
5月5日	7/1~7/5	7/11~7/15	7/31~8/3
5月10日	7/3~7/7	7/13~7/17	8/2~8/4
5月15日	7/7~7/11	7/17~7/21	8/4~8/8
5月20日	7/10~7/14	7/20~7/24	8/7~8/10

※主稈葉齢予測モデル（普及に移す技術第80号）を用いた予測値。移植時葉齢を2.5葉~3.5葉として予測。
平均気温は7月12日までは鹿島台アメダスの実測値、7月13日以降は平年値。

(参考) 幼穂長と出穂前日数

<幼穂長と稲の生育>

幼穂長 (mm)	生育ステージ	外形	出穂前日数
1	幼穂形成期	止葉抽出	25
2			20
8~15			18
30	減数分裂期		15
80			12
120			10
195		穂ばらみ始め	6
205		4	
220		2~1	
220		出穂	0

(2) 水管理

出穂前までは間断かん水を基本とします。

☞幼穂形成期から減数分裂期にかけて日平均気温 20℃以下、または日最低気温 17℃以下が続く場合は、できる限りの深水管理を行いましょう。

※仙台管区気象台の2週間気温予報（7月13日更新）では、今後何日か気温の低い日が続く見通しなので、注意が必要です。

日付	1週目の予報 (日別)							2週目の予報 (5日間平均)			
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
仙台 (最高気温)	20	21	22	24	26	27	27	28	28	28	28
仙台 (最低気温)	18	18	18	18	20	21	21	21	22	22	22
								(19~23日)	(20~24日)	(21~25日)	(22~26日)

(3) 追肥

穂揃期の葉色を維持するため、標準的な追肥を行いましょう。

表4 幼穂形成期および減数分裂期の生育量の目安と追肥量

品種	幼穂形成期 (幼穂長1~2mm)				減数分裂期 (幼穂長3~12cm)			
	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)	追肥量(標準) (窒素成分) (kg/10a)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)	追肥量 (窒素成分) (kg/10a)
ひとめぼれ	56~59	470~530	37~39	1.0	66~69	450~500	35~37	1.0
まなむすめ	65~70	580~600	35~37	2.0	-	500~550	36~38	-
ササニシキ	62~68	720~760	34~36	-	-	550~580	32~34	1.0~1.5
つや姫	70~75	550~580	35~37	2.0	-	-	-	-
だて正夢	64~70	390~460	40~42	-	76~82	380~420	37~39	2.0
金のいぶき	65~70	570~620	33~35	1.0	80~85	490~540	30~32	1.0

表5 穂肥窒素の施用時期と影響

	穂数の増加	1穂穎花数の増加	1穂穎花数の減少防止	登熟の良化
幼穂形成期	○	◎	○	
減数分裂期		○	◎	◎

(4) 病害虫防除 (発生量などの情報は、県病害虫防除所発生予察情報第6号(7/10発行)より)

1) いもち病 発生時期：やや早い(全般発生期7月第3半旬)、発生量：平年並

7月5日以降、感染好適条件の広域出現日が連続しており、葉いもちに感染しやすい状況が続いています(BLASTAMによる推定)。

※感染好適条件：葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上、平均気温15~25℃、前5日間の平均気温20~25℃)が出現した日。

今後もしもち病の感染に好適な日が続く見通しですので、こまめにほ場を観察し、早期発見・早期防除に努めましょう。



進行型病斑

停滞型病斑

褐点型病斑

2) 斑点米カメムシ類 発生時期：平年並(第1世代成虫発生盛期7月第4半旬)、発生量：平年並

【発生源の管理】

水田周辺の牧草地等の草刈りは7月中旬に行いましょう。

【水田の管理】

水田畦畔の草刈りは水稻の出穂10日前までに行いましょう。

【水田の薬剤防除】

- ① 基本の防除体系：1回目は穂揃期、2回目は穂揃期の7~10日後に実施しましょう。
- ② イヌホタルイ発生水田の場合：1回目の防除時期を早めましょう。1回目は出穂始~穂揃期に、2回目は穂揃期の7~10日後に実施しましょう。



アカスジカスミカメの成虫

3) コバネイナゴ 発生時期：やや早い(侵入盛期7月第2半旬)、発生量：多

県病害虫防除所の巡回調査(6/30~7/3)結果では、発生地点率は75.5%と平年より高くなっています。幼虫の齢は平年より進んでいるため、発生が多く見られる水田では速やかに防除を実施しましょう。防除は、3齢(1.5cm程度)までに行ってください。

※山形県と秋田県では、要防除水準を100頭以上(20回振りすくい取り調査)としています。

農薬危害防止運動実施中(6月1日~8月31日)